

■ 銘柄: 金 ■

氏名: 宮永 正人

緩やかな下降レンジ相場から変化の兆し

東京金先限60分足チャート



■ コメント ■

○東京金先限終値 2,869円 (前日比+10円)
5月からのチャートを分析すると、緩やかな下降レンジ相場からレジスタンスブレイクでサポートに転換したような値動きが見られる。フィボナッチリトレースメントの計算では、上昇トレンド(4/28日15時2,772円~5/7日21時2,949円)の38.2%から61.8%で推移、61.8%ラインで反転を見せてサポートライン上の動きになったようだ。
GW以降、小幅なレンジ相場で方向性を欠く国内の金市場。ここからは、緩やかにサポートを意識しながら2,900円を目指す展開を予想。
2,900円ラインを突破後は、2,950円を目標にしたトレンドを形成するだろう。即効性の支援材料がなければ、上値は限定的になる可能性も高く、一方的に同方向の値動きは難しいだろう。
STCやRSIは、50%前後の往來の流れでもみ合いが続いている。
為替動向も注目、本日発表の米住宅着工件数も改善の兆しが予想されており、このままドル高が続くかどうかポイントになりそうだ。
米経済の景気動向の先行きが、金の動向の鍵を握るだろう。(19日 16:30)

■ テクニカル ■

移動平均(5MA)	
2,869	
移動平均(25MA)	
2,860	
RSI(14日)	
54.43%	
MACD線	
2.68	
シグナル線	
1.88	

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。
詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。